



TCA ニュース

= 2009年10月発行 = 【No. 229】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

<http://tokyo-cycling.web.infoseek.co.jp> 〒104-0061 中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ

第75回 東京いいところ自転車散歩

第75回は、「都内の水戸藩史跡めぐり」と題して、東京（江戸）の茨城（水戸藩）ゆかりの地を巡る企画です。今年が水戸藩開藩400年にあたり、また、来年公開予定の映画「桜田門外ノ変」に因んで、今回のフリーラン「東京いいところ自転車散歩」は、茨城県サイクリング協会との合同企画です。

■ 日 時：2009年11月22日（日） 集合 9時（9時30分 スタート予定）

■ 集合場所：JR上野駅 浅草口

■ コース：上野駅（浅草口）～ 隅田公園（水戸藩下屋敷）～ 東京スカイツリー～（墓参）～ 撞木橋（時の鐘）～ 永代橋～ 汐留～ 愛宕山（水戸浪士集合地）～ JCA前～ 国会前（井伊邸跡）～ 桜田門～ パレス（昼食）～ 将門首塚～ 神田橋～ 神田明神（祭神・将門）～ 小石川後樂園（水戸藩上屋敷）～ 東大農学部（水戸藩中屋敷）～ 谷中霊園（慶喜公墓所）～ 上野駅公園口（解散 15時頃）約32km

■ 担 当：中村洋一郎（当日の連絡は、中村：090-6415-8165）

■ 問合せ先：東京サイクリング協会事務局・中村（TEL：03-3541-6540）

■ 注意事項：フリーランは自由参加です。但し、途中で離脱する時は仲間やコース担当者に声をかけて下さい。サイクリング中の事故、けが等に十分注意して各自の責任において走って下さい。
コース途中の墓参は、先日亡くなった当協会相談役だった北川四郎氏のお墓の近くを通るので有志で寄ろうと思います。

事務局からのお知らせ

11/8 視覚障害者とタンデムを楽しむ集い

11/1（日）のパレスサイクリングで行なう「視覚障害者とタンデムを楽しむ集い」とは別に、パレスサイクリング運営委員会から11/8（日）に「タンデムの集い」の協力要請が来ています。こちら協力して頂ける方は、事務局まで出来るだけ早めにご連絡下さい。なお、雨天の場合は中止となりますので、当日不明な時は下記にお問合せ下さい。

TEL：03-3211-5020（パレス）又は 携帯：090-6415-8165（中村）

自転車をもっと好きになる講習会

12/19（土）15：30～17：30の予定で実施します。

テーマは「自転車修理の工夫」他です。場所等詳細は次号でお知らせします。

2009年を送るサイクリストの夕べ

12/19（土）18時より、前述の講習会終了後開催いたします。詳細は次号で。

【9月末現在 会員数389名】

視覚障害者とタンデムを楽しむ集いとパイロット講習会に参加して

《2009年8月30日 神宮外苑サイクリングコース》

TCA会員 谷合 孝

当日は、時おり小雨がぱらつくあいにくの天気。そんな中、TCAをはじめとするパイロットが33名、都盲協の方々17名が神宮外苑のサイクリングコースに集まった。前回の6月の会は雨天で中止となってしまう、5月以来4ヶ月ぶりのタンデムサイクリングである。

朝9:30に集合して準備を始める。倉庫からタンデム自転車を運び出し、ブレーキの利き具合やタイヤの空気圧をチェックする。やがて10:00となり、タンデムサイクリングがスタート。後ろに乗るゲストのサドルの高さを調整して、コースへ走り出す。

神宮外苑のサイクリングコースは一部狭い箇所があり、いつもは他の自転車と接触しないよう気を使うのだが、この日は天気が良くなかったため、コースはすいていて走りやすかった。

タンデムの集いも回を重ねるごとに、私達パイロットも慣れてくる。ゲストの都盲協の方も過去に何度か参加された経験者が多い。

「赤信号です、止まります」

「はい、スタートします」

発進と停止もスムーズに、コースを二周走り、戻ってくる。

「まもなく、ゴールに到着です。」

「ありがとうございました。」

タンデムを下りるときにゲストの方から頂く感謝の言葉は、うれしく思う。



プロスバイク社の折りたたみ式タンデム車

《サイクルスクエア北参道》

午後からは、「サイクルスクエア北参道」に移動。昼食の後、タンデムサイクリングに関する講習会を行う。資料を見ながら、JCA長澤部長、山口課長からタンデム自転車の全国走行を目指していることについてお話がある。また、タンデム自転車の走行について、長野県の他に山形県と兵庫県内でも、一般道において走行可能になったことを知った。



タンデムパイロット講習会 於:サイクルスクエア北参道

今回のタンデムの集いで、新しい折りたたみ式のタンデム自転車が公開された。

前後にサスペンションを装備して、8段変速ギヤがある。トップチューブと後輪を折りたたむことが出来る構造で、手で持ってみると思ったほど車体重量は重くない。(上の写真)

この折りたたみ自転車ならば、容易にワゴン車に積み込み、走る場所まで運搬が可能である。この自転車でさっそうと走る姿をアピールすることが出来れば、タンデム自転車についての関心も高まり、全国的に走行解禁の糸口につながることになるだろうと思う。

第53回全国サイクリング大会 in HAKODATEに参加して

TCA理事 中田修二

函館は学生時代、当時両親が函館に転勤していた関係で、4年間毎年夏冬を過ごした思い出の地です。その函館を存分に走りたいと思い、高橋理事と一緒に大会前日の9月5日(土)、朝7:40羽田発のJAL便で函館に向かった。

天気予報によると、この週は台風の影響であまり良い天気は期待できなかった。実際に何度も大雨が降ったが、それは我々がホテルの中にいる時だけで、サイクリング中は3日間雨に濡れることなく天が味方をしてくれた。

函館空港で自転車を組み立て、初日の宿である街中の五稜郭にほど近い「ホテル法華クラブ函館」まで走り、ホテルのフロントに荷物を預けて五稜郭に行った。昔の木造のタワーは東京タワーのような鉄筋の素晴らしいタワーに建て代わって天高く聳えていた。いつのまにか高橋さんが五稜郭タワーの割引券を手に入れてくれていたのでラッキーだった。107mあるタワーの上からは、五稜郭はもちろん、函館の街も海も函館山も、360度展望が開けて、晴天に恵まれたこともあって素晴らしい絶景に感動した。

この日は、函館山の中腹にあるハリストス正教会や旧市役所など異国情緒豊かな街並みや海を眺め、いかにも函館らしい景色を堪能した。途中、大会のスタートゴールとなる「緑の島」に寄ったところ、なにやらイベントがあるらしくテントの設営をしている人たちに出会った。係りの人に「何かあるのですか？」と聞いたところ、「明日土曜日に子供向けのエコフェスタがあるんですよ。良かったら覗いてみてください」とのこと。しかもその後の説明が面白かった。「実は毎年この時期の日曜日に開催しているのですが、今年は全国サイクリング大会が日曜日に行われることになったため、異例の土曜日になりました。」「私の先輩が函館サイクリング協会にいて、日曜日にここをスタートゴールに使いたいというので、先輩の顔を立てて譲った次第です。」とのことで面白い話を聞かせていただいた。

そのあと有名な朝市を見学し、魚屋さんに教えてもらったラーメン屋で昼食にしたが、とても美味しく満足した。帰り道に、ホテルの斜向かいにあるデパート丸井今井の地下のスーパーマーケットで夕食を仕入れ、部屋で乾杯した。

翌5日は、夕方の大会受付まで時間があるので、ホテルに荷物を預けてトラピスト修道院を尋ねた。見事に綺麗に整備された修道院の中庭で、思いがけず千葉県サイクリング協会の既知のメンバーと再会した。修道院を見学し、お土産を仕入れてからホテルに戻り、荷物を次のホテルに移動した。大会本部でアレンジしてくれたTCAにあてがわれたホテルは、「ラピスタ函館ベイ」という超近代的な建物だが、内装は全て日本調に作られていて、シックな落ちついた雰囲気の高級ホテルだった。昼食は、函館駅近くの朝市の一角にあるレストランで海の幸の盛り合わせを食べたが、これが美味しくてびっくりした。他の店に較べて価格もリーズナブルだったので嬉しくなった。その後、かの有名な函館外人墓地までサイクリングをした。

全国サイクリング北海道大会の式典・交換会は、我々のホテルから歩いて5分くらいにある「函館国際ホテル」で行われた。参加者は590名。地元の北海道(327名)を除くと全国からは263名、内東京からは12名参加した。

JCA会長の谷垣さんは公務により代理人が挨拶をしたが、北海道サイクリング協会の橋本聖子会長が出席し挨拶された。式典・交換会のあと、事前に予約していたバス3台を連ねて函館山の夜景見物に行った。幸いこの夜は珍しく快晴で、函館山からみる夜景は、さすがに日本あるいは日本三大夜景と言われるだけあって、見応えがあった。山の上も土産物屋も、素晴らしい好天に恵まれて沢山のお客であふれていた。

翌6日はA、B、Cコースに分かれてサイクリング。

我々は、橋本会長と同じAコース[大沼周回](75km)を皆と一緒に走った。



